

関山街道フォーラム イベント開催報告書

◆ 第3弾！「仙山線の魅力を語る会 in やまでら」が開催されました。

28日（日）15:00～17:00 山寺芭蕉記念館において約50名の参加で開催されました。前日まで仙山線の通信機器の故障で作並、山形間が不通になっており、当日の足が心配されましたが、当日は晴れ間も見え、山寺の深い緑に心洗われる思いでした。

山寺観光協会の遠藤定治さんの進行、山寺地区文化観光推進協議会の新関孝夫さんの挨拶で始まりました。

○講演は「仙山線の魅力について」をテーマに東北大学大学院工学研究科の後藤光亀先生より、仙山線における土木遺産の内容と意義について、地域住民の活動としての仙山線ものがたりの取組み、山形側での仙山線敷設の歴史的な経緯等の話を伺いました。また仙山線の楽しみ方等も話され、山形側の写真等からおもしろい話題もあり興味深く聞くことができました。

○事業報告として、関山街道フォーラム鉄の道部会長の加藤榮一さんより、当協議会が設立されるまでの経緯や活動の報告をしていただきました。今後ますます山形のみなさんと交流を深め、この仙山線を契機に山形と宮城の地域を盛り上げていきましょう、という意気込みが語られました。

○座談会では「仙山線の思い出」と題して、山寺在住の元国鉄機関士の遠藤幸治さんより、機関士として41年に渡る経験から、思い出話を披露していただきました。仙山線は勾配がきつくカーブが多いため、当時の電車は機関士の運転技術でカバーされていたことがわかりました。戦後、ヤミ屋が荷物を多く載せるため貸車が重く連結機が外れないようにした事、トンネルにつららができるので、朝一番につららを取った話、雪が多くブレーキが利かず苦労してことなど、今だから話せる話もあり大変興味深いものでした。

○余談として新関さんより、仙山線が全通した時に鉄道局より指定された時計の話、また70周年の時、仙山線の殉職者の慰霊祭を行い、親族の方にびっくりされた話など、影の力になった人を忘れないことが大事だという話がありとても感銘しました。

座談会の後、一日遅れの山寺の夏祭りに参加させていただき、歌あり踊りありの楽しいひとときを過ごすことができました。また立石寺のご住職より、根本中堂の説明を聞く機会もあり、厳かな雰囲気の中、心改まる思いで山寺の歴史の深さを実感しました。

山形の皆さん、お忙しい中お世話になりました。ありがとうございました。

（報告者：原河）